

情報知識学会第 18 回(2010 年度)年次大会 記念シンポジウム

科学技術コモンズと情報知識学の挑戦

開催趣旨

科学技術は元来、公共に資するものとされてきましたが、研究成果の権利化、学術雑誌の商業化、データベースの重要性の高まりといった現在の潮流の中で、著作権、知的財産権との関係が大きくクローズアップされるようになってきました。本学会においてもこの科学技術とコモンズに関する議論を重ねてきましたが、我が国における議論は未だに低調のようにも思われます。そこで、本シンポジウムでは、科学技術コモンズ、特に、学術雑誌やデータのオープン化、ライフサイエンスや材料科学におけるデータベースの統合化や、コモンズに蓄積された知の活用といったトピックを中心に、その法的側面も踏まえ包括的に捉え、科学技術コモンズの現状と課題を会員の皆様方で共有し、今後の展開について議論して参りたいと思います。

開催日時及び場所

日時：2010 年 5 月 15 日 (土) 13 時 00 分～17 時 40 分

場所：東京大学本郷キャンパス工学部 2 号館 213 号室

参加費：無料

プログラム

開会挨拶

13 時 00 分～13 時 10 分

「科学技術コモンズの構築に向けて」

岩田修一教授 (東京大学)

基調講演

13 時 10 分～13 時 40 分

「科学技術コモンズと情報知識学への期待」

長尾真館長 (国会図書館)

基調講演

13 時 40 分～14 時 10 分

「科学技術コモンズとオープンアクセス」

時実象一教授 (愛知大学)

招待講演

14 時 10 分～15 時 40 分

「ライフサイエンスにおける統合データベースの構築と課題」

高木利久センター長 (ライフサイエンス統合データベースセンター)

「材料科学におけるデータベース共通プラットフォームの開発と課題」

芦野俊宏教授 (東洋大学)

「コモンズ構築と利用のための知識表現」

Steven Kraines 准教授 (東京大学)

特別講演

16 時 00 分～16 時 30 分

「コモンズに関わる法的課題」

野口祐子氏 (クリエイティブ・コモンズ・ジャパン常務理事)

パネル討論

16 時 30 分～17 時 30 分

モデレーター：橋本正洋氏 (特許庁)

閉会挨拶

17 時 30 分～17 時 40 分

根岸正光会長

【懇談会 (2F 展示室) 会費：一般 4,000 円 学生 1,000 円

18 時 00 分～20 時 00 分】